

向田町会

吉池 一孝さん (向田町会 広報担当・向田向老会 副会長)



[Profile]

28年前に転勤で戸田市に転入。マンションの理事長になったことがきっかけで町会と関わりを持つ。その後老人クラブの立ち上げにも携わり、ロコミで参加の輪を広げている。町会では広報担当として、活動の記録やチラシの作成などに尽力している。

「ちょっと来てみない？」と声をかけてみるのが大事。
ロコミで仲間がどんどん増えています！

[Interview]

Q. 戸田市にはずっとお住いなのですか？

28年前、転勤で戸田市に引っ越してきました。住んでいるマンションの理事会で理事長になったことがきっかけで、町会と関わるようになりました。当時は、地域に知り合いもいなかったので、もっと街に溶け込みたいという気持ちもありました。今思うと良い機会だったのかもかもしれません。

Q 町会ではどのような活動をしていますか？

向田町会は、町会と子ども会、老人クラブが持ちつ持たれつで連携しながら実施している事業が多いです。

例えば、花ロードの花植えは町会が主催ではありますが、子ども会や向老会も協力して、みんなで行いました。子どもたちも自分の植えた花で街がきれいに彩られて、嬉しそうでした。

11月に開催した向田マルシェというお祭りも町会と子ども会が連携して開催しました。あいにくの天気でしたが、子どもたちもたくさん参加してくれて、大人たちもお揃いの町会ポロシャツを着て、一丸となって盛り上げました。



Q 町会の広報担当もされているとのことですね？

はい、事業案内や会員募集のチラシを作ったり、行事の記録写真を撮ってまとめたりしています。向田町会は本当に若い世代の方々が多く、皆さん熱心で親切なんです。チラシを作るときには、少しでもその活気ある雰囲気や伝わるような写真を取り入れています。



Q 向田町会の良いところはどのようなところですか？

子どもと一緒に楽しめる町会であるところだと思います。

役員の皆さんは若い方が多いので、現役世代の方々が参加しやすいよう、様々な工夫がされています。

例えば子育て世帯の方々は、子どもを置いて、会議に参加できないですよね。それなら、子ども連れで参加してもらおうと。



町会長が子どもたちは子ども同士で遊んで待ってられるような配慮をしてくれています。

Q.向田向老会（老人クラブ）の副会長もされているとのことですね？

平成 28 年の老人クラブの立ち上げから携わっています。当初は 10 人くらいで始めたのですが、口コミで広がり、今では会員が 43 名。体操や卓球、カラオケ、パークゴルフなどの体を動かす事業や、お楽しみ会などをして楽しんでいます。活動は強制ではありません。自分が興味ある活動に参加していただければよいと思っています。中には年に 1 回忘年会に参加するだけの人もいます。笑

家から出て人と話すこと、それが一番大切だと思っています。町会長が快く町会会館を使わせてくださるので、感謝しています。

Q 今はかつての吉池さんのように「街に溶け込みたい」という気持ちを持つ方々を、受け入れる側になられていますが、何か意識していることはありますか？

私もそうですが、北戸田駅に近いマンションのため、皆さん生活圏が駅の周りなんです。対して向田町会会館は、逆方向。普段の生活でわざわざ町会会館に行く機会はなかなかないと思うのですが、それでも「ちょっと来てみない？」とお誘いしています。一度来てみてくれれば、皆さん喜んで来てくれるようになります。口コミが一番大事ですね。

Q 今後どのような活動をしていきたいですか？

今、向老会は体を動かす活動ばかりなのですが、会員の皆さんの意見を聞きながら、囲碁や室内で出来るゲームなど、みんなでお話ししながら楽しめる活動を色々取り入れていきたいです。

向老会の会員の皆さんは、本当に良い人ばかりで、とても居心地の良い場所です。この会を末長く続けていくためにも、役員の引継ぎなど、うまくバトンタッチしていける仕組みが作ればいいなと思います。

